

# 「フェイスブック×美活」で13日婚！（5/5）

## チャンスを逃さないために しておくべきこととは？

2週間たらずで最高の結婚を手に入れた智子さん。

訪れた幸運のチャンスを逃さずゲットできた勝因を、記者なりに分析してみました。ポイントは以下の4つ。

### 1、結婚相手に求める条件が明確！

29歳のときに、“結婚相手に求めること”を20項目書き出した、と智子さん。

「“いいかな”と思う相手がいても、20項目と照らし合わせてあてはまらない点があれば、ズルズルその人に執着しなくてすみました」。

逆に、シンイチさんはというと…

「自分と同じ東京育ちで、サービス精神が旺盛で心身ともタフetc. 彼は20項目すべてをクリアしていたんです！ これまではそんな人、一人もいなかったもので、初対面で話してすぐ、“この人と結婚したい”と素直に思えました」

### 2、“使うネットワーク”に狙いを定める

学生時代、仕事関係、趣味の仲間…自分のネットワークのうち、自分の求める相手はどこが一番近そうかを考え、その人脈を活用すべし、というのが智子さんの婚活哲学（!?!）。

「私の場合はそれが大学時代のネットワークだったので、同級生、先輩、後輩と大学のネットワークを駆使していました（笑）。スピード婚に踏み切れたのも、彼が同じ大学だったという安心感があつたからだと思います」

### 3、持つべきものは“いい女友達”

キューピッド役を務めたエリさんは、学生時代からの友人で今も大の仲良し。智子さんの価値観や好みをよく分かってくれているので、「紹介してくれる男性も、間違いがない」と絶大な信頼が！

「男友達に男性を紹介してもらうより、女友達のほうが断然、ピンとくる確率が高いと思います！自分のことをわかってくれて、人脈が広い女友達は本当にありがたい!!」

#### 4、「この人」と決めたら迷わない！

そして記者が一番感動したのが、智子さんの決断力&行動力。普通は「ちょっと考えさせて」と言ってしまうであろう、2回目のデートでの親への挨拶の申し出を迷いなく受け入れ、翌日に実行に移してしまう智子さんの決断力なくしては、スピード結婚は成立しなかったはず。あっぱれ！！

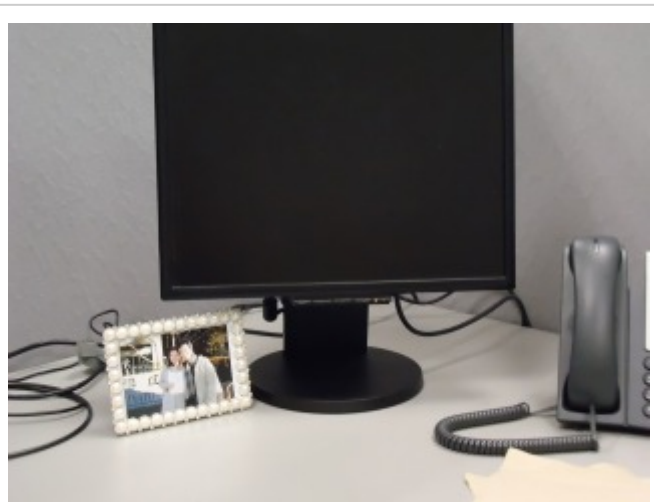


ほんの数カ月前までは、「ずっと結婚できないかも…」と不安に思うことも多かった」と話す智子さん。“自分に合う相手が見つからない”と悩む同年代のシングル女子たちに、「何歳からでも一発大逆転は起こせるはずですよ！！」と説得力のある一言。

「20代の頃は、好きになった相手の好みにムリに自分をあわせたこともあったけれど、それじゃいい関係は続かないんですよ。自分が自分らしく振舞うことができる男性を見つけることが大切なんだっていろいろな出来事を経て気付きました。

その意味で、これまでのうまくいかなかった恋愛や合コンも、いろいろ悩んだことも、何ひとつムダなことはないんだな、と思います」

結婚への漠然とした不安を抱えているシングル女子のみなさん!!



シンイチさんのオフィスのデスクには、入籍したときに撮った、思い出の1枚が飾られているそう！

あなたの一発大逆転劇も、もしかしたら数週間後に迫っている、…かも知れませんよ。

文/佐藤 珠希=日経ウーマン



1 2 3 4 5

TREND

この記事は役に立ちましたか？  
働く女性のための「日経ウーマンオンライン」最新記事のお知らせを好きな方法で受け取れます。



11万2千人

無料メルマガを購読する



6万人

Facebookに「いいね!」する



3万3千人

Twitterをフォローする

